

# 武蔵野ごみ ニュース

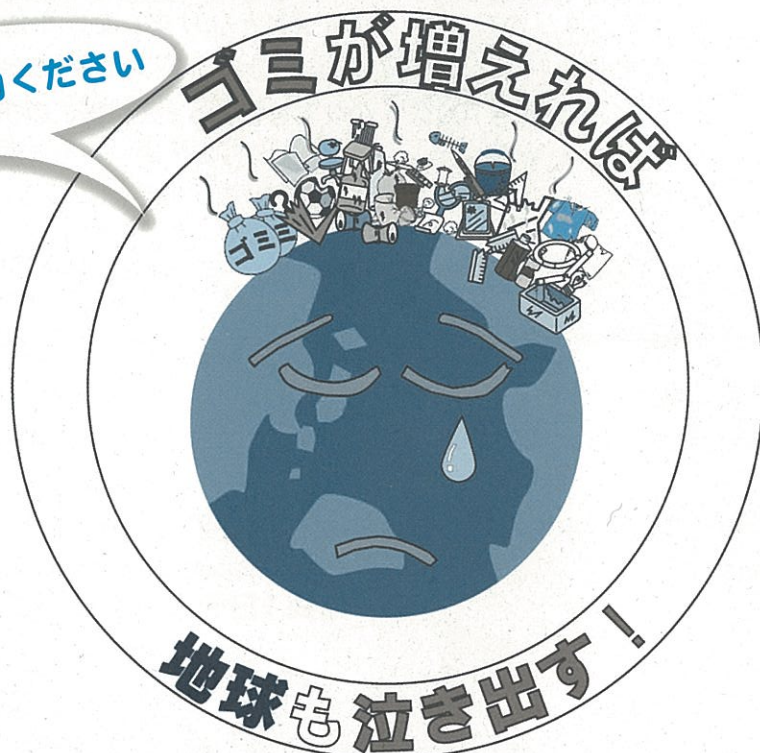
vol.2

～ ごみ減量情報紙 ～

発行 | 武蔵野市環境生活部ごみ総合対策課  
住所 | 〒180-8777 武蔵野市緑町 2-2-28  
電話 | 0422-60-1802  
E-mail | sec-gomitaisaku@city.musashino.lg.jp

前のごみ減量情報紙で愛称を募集したところ最多得票を得た「武蔵野ごみニュース」がごみ減量情報紙の愛称となりました。

ごみ減量にご協力ください



ごみ問題は一人ひとりが関係する身近な問題です。省資源型の持続可能な社会の形成を目指すうえで、ごみ問題は避けて通ることが出来ません。必要のないものを基本に、みなさまのご協力をお願いします。見開きページの家庭でできるワンポイントもぜひ参照してください。

(平成19年2月実施「ごみ減量フェスタ」で市内小学生940人の中から選ばれた市長賞受賞作品)

## 燃やさないごみの収集回数が月2回になります

燃やさないごみの収集量が大幅に減少しています。燃やさないごみの収集効率を向上させ、環境負荷を低減し、処理経費を抑制するため、燃やさないごみの収集回数を週1回から月2回に変更いたします。

町(丁目)名	収集日 その月の1番目・3番目に来る曜日
吉祥寺東町	第1・第3 金曜日
吉祥寺南町	第1・第3 火曜日
御殿山	第1・第3 水曜日
吉祥寺本町1丁目	第1・第3 金曜日
吉祥寺本町2・3・4丁目	第1・第3 水曜日
吉祥寺北町	第1・第3 水曜日
中町	第1・第3 水曜日

町(丁目)名	収集日 その月の2番目・4番目に来る曜日
西久保	第2・第4 水曜日
緑町	第2・第4 月曜日
八幡町	第2・第4 月曜日
関前	第2・第4 水曜日
境1・3丁目	第2・第4 水曜日
境2・4・5丁目	第2・第4 木曜日
境南町	第2・第4 水曜日
桜堤	第2・第4 木曜日

【ご注意】

- \*第5の曜日には収集はありません。
- \*年始(1月1～3日)を除き祝日にも収集します。
- \*市の有料ごみ処理袋で排出する事業所についても月2回の収集になります。
- \*収集時間が変わる場合があります。朝9時までにお出してください。

- \*燃やさないごみの分別方法に変更はありません。
- \*燃やすごみ、資源物、有害ごみの収集に変更はありません。



# 武蔵野ごみチャレンジ700グラム

## なぜチャレンジ700グラムなのか？

平成16年10月に武蔵野市では家庭ごみの有料化とあわせて戸別収集を実施し、有料化後1年目はごみ・資源物の量が減少したものの、2年目にはリバウンドし増加傾向となりました。平成17年度の武蔵野市の家庭ごみ1日一人あたりのごみ排出量は764グラムあり、当時の多摩平均が約700グラムであったことから、平成18年11月に1日一人あたりの排出量を700グラム以下を目指す「武蔵野ごみチャレンジ700グラム」宣言を実施し、ごみ減量に取り組んでいます。

## ごみ発生量の推移について

平成20年10月現在、燃やすごみと燃やさないごみの合計量は、家庭ごみの有料化前に比べ16%減少しています。古紙をはじめとした資源物は全体で34%増加しており、総排出量では、4%の減少にとどまっている状況です。

家庭ごみ1日一人あたりのごみ量も、有料化前に比べ49グラム減少し、740グラムとなりましたが、多摩地域の平均(平成19年度669グラム)にまだまだ及ばない状況です。

市のごみ処理基本計画では、平成24年度までにごみ量を700グラムに減らすことを目標としており、市では今後も引き続きごみの減量に努めてまいります。市民のみなさまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



## 家庭でできるごみ減量フンポイント

- **洗剤などを買うときは詰め替え用の商品を買う**  
ごみが減らせるだけでなく、家計にも優しい減量ポイントです。シャンプーなどであれば種類にもよりますが、100g程度の減量になります。
- **食べ残しを減らす**  
日本人の1日一人あたりの食べ残し量は47.3g(平成17年度農林水産省発表)。食べ残しをしない、また冷蔵庫の食べものの消費期限はチェックしておくことが重要です。
- **不要な過剰包装などは断る**  
必要ではない過剰包装などは、すぐにごみとなってしまいうため、できるだけ断りましょう。
- **水きりをする**  
生ごみは、捨てる前に水きりをしましょう。また、ごみ袋もしっかりと口をしめることで、雨が降ってもごみが重くなりません。ごみの水分が増えると、焼却時のエネルギーも余分に必要になってしまいます。

## 事業系ごみの減量について

### 立入検査

市では平成14年から、ごみ排出量が月10トン以上の多量排出事業者に対し、廃棄物保管場所の立入検査・指導を繰り返し行い、事業活動から発生する雑紙や生ごみの減量・資源化の推進を図っています。

### ECOパートナー制度

市ではごみの分別・減量及び生ごみ・雑紙の全量資源化に取り組んでいる優良な事業者を認定し、表彰しています。平成19年度は16事業者、20年度には19事業者が認定表彰されました。



### 平成20年度新規認定事業所

- ・株式会社 イトーヨーカ堂 武蔵境店
- ・協同組合 武蔵野給食センター
- ・株式会社 モンテローザ

事業者・行政の協働により約4,200トンを減量!  
(事業系持込みごみ量/平成13年度比)



平成19年度 認定表彰式

## クリーンセンターの建替



現クリーンセンター建設への歩みは、約30年前に行われた市民参加の大プロジェクトでした。

大議論の末、周辺住民の「苦渋の選択」として現在の場所が用地となり、建設・運営にも住民が深く関わっています。そして今、稼動以来24年が経ち、未来に向けて建て替え計画の検討が始まりました。クリーンセンターの建て替えは、ごみを出す全市民の問題です。ごみ減量が進めば、クリーンセンターで処理する量も減り、環境負荷が軽減されます。平成20年8月より市民団体、公募市民、行政等で構成する「(仮称)新武蔵野クリーン

センター施設まちづくり検討委員会」により、建て替えの基本方針について検討が行われています。9月にはフォーラムを開催し、12月より各コミセンを巡回する「コミセン勉強会」を開始しました。また、クリーンセンター内にオープンハウスを設置するなど、様々な取り組みを行っています。今までの経過も踏まえ、全市民の取り組みとして、より良いクリーンセンターについて、一緒に考えましょう。



## もっとかみを減らすために！



ごみ減量協議会の様子

本紙の見開きページに掲載されている「ごみ処理基本計画」を実現させるためには、一般家庭から排出されるごみ・資源物の減量を進めていかなくてはなりません。このため平成19年9月より市民・事業者・行政で、ごみ減量を具体化していくための協議会を発足しました。

家庭で実践できるごみ減量をテーマに1年の任期で委員は委嘱され平成20年8月には市長へ提言書が提出されました。生ごみ部会・紙部会・容器包装部会の3部会を設けており、ごみ・資源物減量の具体策について議論しています。

## レジ袋を断ろう！



平成20年10月のマイバックキャンペーンの様子

レジ袋は使い捨てになってしまいうケースが多くあります。買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋を断るだけで、ごみの減量やCO<sub>2</sub>の削減につながります。レジ袋は年間一人あたり約300枚使用していると言われていています。20ℓのレジ袋の重さは約10グラムあり、これが減ることによりごみの減量につながります。レジ袋を断ることをきっかけに必要なものはもらわないという意識を持ち、より一層のごみ減量を心がけ、使い捨てのライフスタイルを見直しましょう。

また、ごみ減量協議会よりレジ袋削減の提言を受け、平成21年1月よりレジ袋の削減を目的とした

委員会、「レジ袋削減会議」がスタートしました。市民・事業者・行政が協働で武蔵野市のレジ袋削減のあり方について、レジ袋辞退率60%を目標に検討しています。市内の協力店を募り、6月頃レジ袋辞退率をはかる実証実験も予定しています。

## ごみ総合対策課からのお知らせコーナー

### 家電リサイクル法が改正されます。

4月1日から家電リサイクル対象品目が増えます。対象品目に液晶テレビ、プラズマテレビ(携帯可能なものや業務用製品は対象外)、衣類乾燥機が加わります。

廃棄する際は、購入・販売店へ引き取りを依頼するか、家電リサイクル受付センター TEL042-485-1681へお問い合わせください。市による収集は行いませんのでご注意ください。

### 生ごみ処理機の補助制度が終わります。

電気式生ごみ処理機は新たなCO<sub>2</sub>を発生させてしまうこと、過去の補助金支給者への利用調査で6割以上が資源化処理をしていないことが判明したため、平成21年3月末を持ちまして、生ごみ処理機の補助制度は終了となります。ただし、購入日から1年は申請できますので、平成21年3月31日までに購入された生ごみ処理機は補助審査の対象となります。一部補助の対象とならない生ごみ処理機もありますので、購入前に1度お問合せください。